

# 平成30年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	蕪政クラブ
出席者	西野 賢一 小沢 栄一 金井 洋介
事業名	サテライトオフィス事業
事業区分	①研究研修 ②調査

## 1. 蕪崎市での課題と研修・調査の目的

妊娠や出産を機に多くの女性が仕事を辞めざるを得ない状況であり、また働きたくても様々な理由から働けない子育て世代の女性がいる。  
この課題解決に向けて、子育て世代の「働きたい」をテレワークで実現している駒ヶ根市の取り組みを調査した。

## 2. 実施概要

実施日時	平成 31年 2月 6日 (水) 13:30 ~ 16:00
視察先	長野県駒ヶ根市
担当部局	産業部商工振興課

報告内容	<p>●サテライトオフィス開設の経緯(課題)</p> <p>1・進学で流出した25%の女性に戻らない点 要因・製造業の仕事が中心で事務系の仕事が少なかった</p> <p>2・出産等を機に女性の70%が仕事を辞めざるを得ない点 要因・仕事と育児の両立が時間的に難しい</p> <p>上記の課題に対する駒ヶ根市の取り組みを学んだ</p>
------	--

## 1. 運営状況

### ●サテライトオフィス

都市部に本社がある入居企業の社員が、駒ヶ根市で遠隔業務ができるように通信設備や事務機器を整えたオフィス

#### 【入居企業】

株式会社ステラリンク

代表取締役社長 前田保宏 (東京都千代田区九段南4-7-19 3階)

株式会社クラウドワークス

代表取締役社長 吉田浩一郎 (東京都渋谷区恵比寿4-20-3 6階)

#### 【設備備品】

机、椅子、棚、パソコン、モニター、大型ディスプレイ、プリンター、無線LAN等

駒ヶ根市は2017年3月1日、駒ヶ根駅前に「駒ヶ根テレワークオフィス」(愛称:Koto)を開設。

Kotoには上記のIT企業2社が進出し、一部の社員を移住させて、テレワークで本社業務を実施。さらに、進出2社は市民向けにテレワーク業務を提供。このワーカー向けワークスペースをサテライトオフィスと呼ぶ。

感想(まとめ)  
・市政に活かせること

## 2. 考察(これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか)

妊娠や出産を機に多くの女性が仕事を辞めざるを得ない状況であり、また働きたくても子育て中の女性は働く機会に恵まれていない。

この課題解決に向けて、駒ヶ根市では「クラウドソーシングを活用したテレワーク」事業を国の補助事業の活用と企業の協力を得ながら導入し、子育て中の女性達が自分のやりたい仕事を、時間や場所を選ばずにすることを可能としている。

子育て支援センターがある市民交流センター「ニコリ」等において事業展開の可能性を含め今後も子育て世代の女性の働く場の創出を研究していく。